

中萩



コロナ禍のため、参加人数を例年の半数にし、体験する内容も三密を避けられる体験に限定した校区防災訓練を実施しました。コロナ禍での避難所運営を考えていくうえでも非常に有意義な訓練となりました。

角野



校区のシンボルである「えんとつ山」や「生子(しょうじ)橋」周辺の景観整備を角野中生徒、PTA、自治会、防災会などが担っています。このような活動を通じて、歴史と自然と人が調和した故郷「すみの」づくりに取り組んでいます。

船木



毎年11月に開催している船木校区芸能祭。今年は船木小の金管バンド、船木中の音楽部と船木和太鼓クラブが演奏。カラオケ、大正琴、三味線、フラダンスも披露され、郷土芸能「かぶと踊り」がフィナーレを飾りました。

若宮



コロナ禍で「今、できることを」を合言葉に、文化祭で作品を展示しました。感染症対策を徹底し、保育園、小・中学校、サークル、地域の協力を得て実施。例年に匹敵する来場者数となり、意義深い行事となりました。

金栄



今年度で34回を迎えた「ドリームツリー」には、疫病退散のアマビエも飾りました。子どもたちの健やかな成長と地域住民の皆さんの幸せを願い、「かがやき」をテーマに1月9日(土)まで校区を照らし続けました。

宮西



宮西小学校で、校舎の南側に設置された防災トイレ(マンホールトイレ)について研修を行いました。トイレの仕組みや、かぶせるテントなどの設置方法を学習。今後も防災意識を高め「自助」「共助」について地域で学びます。

惣開



コロナ禍で行事の中止や延期が相次ぐ中、地域の皆さんに心の癒やしを届けようとキャンドルアートを実施しました。厳しい状況でも共に楽しい思い出作りや体験活動ができるように取り組んでいます。

新居浜



「次世代ネットワーク」メンバーの中学生と高校生が企画した防災講座「私たちに出来ること～災害に強い地域にするためには～」を開催。「街歩きからの危険箇所マップ作り」などを通して、地域の人たちに防災について学習してもらいました。

金子



コロナ禍の時間を活用して「回収ダンボールを使った避難所用ベッドづくり訓練」や、密を避けるeスポーツ「ドローン競技」の導入など、ウィズコロナ活動で元気な町づくりを行っています。

自治会は、隣近所に住む人たちが自主的に運営されている最も身近な住民自治組織です。住みよい地域社会をつくるため、他人任せではなく、そこに住む人たちがみんな助け合って活動していくことを目的としています。

現在、新居浜市には18の校区連合自治会があります。地元の公民館や各種団体と連携してイベントを行うなど、顔の見える関係づくり、いざというときに備えた体制づくりに力を尽くしています。

安心して住みやすい活気あるまちを目指して、地域づくり活動に参加してみませんか？

別子



コロナ禍のため、産業文化祭は規模を縮小して開催しました。別子小・中学校の学習成果発表会では、産業文化祭で忙しく初めて見たという人が多数おり、子どもたちの頑張っている姿に感動したと好評でした。

泉川



登下校中に地震などの災害が起きた時、中学生が同地区の小学校低学年の児童を自宅まで連れて帰る防災下校を実施しました。見守り隊や地域の人々が下校を見守る中、避難時の行動を再確認しました。

大生院



地域のボランティア団体や校区自治会の有志で、渦井川上流の谷間に捨てられた家庭大型ごみ、産業廃棄物などのごみ拾いをしました。これからもみんなで地域の環境を守り続けていきたいと思えます。

浮島



子どもたちから募集した「地域を明るくする標語」や「海や浜辺を美しくする標語」を看板にし、地域のシンボルとして校区随所に設置しています。標語をきっかけにあいさつを交わすなど、地域コミュニティーの一翼を担っています。

大島



新型コロナウイルス感染症の影響で、今年度の「とうど祭り」は中止しましたが、おたき上げ所として小型の「とうど」を作りました。1月11日(月)の早朝、新型コロナウイルス感染症の早期収束を祈願し、点火しました。

神郷



昨年12月、各自治会員と自主防災組織の各班長の少人数で校区防災訓練を実施しました。今年度初めて設けた体験コーナーでは、参加者が災害時に防災用品を短時間に組み立てられるよう訓練しました。

垣生



昨年12月中旬～1月上旬、垣生小放課後子ども教室お手製の灯籠なども飾った「イルミネーションファンタジー」が地域を彩りました。垣生山展望台のツリー型イルミネーションなど、地域住民らを楽しませました。

多喜浜



昨年11月、「多喜浜校区防災を意識する日」として、公民館と1次避難所の6自治会館でリモート防災訓練を行いました。参加者はバンダナマスクや、ダンボールベッド、間仕切りテントなどの制作を行いました。

高津



平成28年から住民や児童たちの居場所を提供するため、公民館で「三世代交流わいわいクラブ」を開設しています。放課後に集まり、宿題を終えた後、地域の人と将棋やお手玉などの昔遊びを中心に楽しく交流しています。

もっと知って！ 自治会の活動

住みやすい 活気あるまちを 目指して

地域コミュニティ課 ☎ 65-1218

～ REAL VOICE (出典:マンガで分かる新居浜市自治会) ～

自治会に加入して良かったこと



マンガで分かる
新居浜市自治会はこちら

年配の人からたくさん
のことを学ぶことができ、ま
た近所の人とも気軽に会話が
できます。何より
井戸端会議が楽しい。

(60代女性)

校区運動会、いもだ
きなど楽しいイベントに参
加でき、**子どもたち
の楽しい思い出**
になりました。

(50代女性)

地域、近所の人との
交流の機会が増え、仕事
以外で**生活の幅が
広がった。**

(50代男性)

子ども会へ加入しま
した。**子どもは地域
の人に支えられて
育てられている**
ことを実感しました。

(40代女性)

道路の陥没や、防犯灯
の設置などの要望を自治会
で取りまとめて改善できた。
遠くの親戚より近くの他人、
いざとなったら**ご近所の
人が頼り。**(50代男性)

引越してきた時に、ちょうど
近所に自治会長さんがお住みで、ゴ
ミ出しや自治会の行事のことなど丁寧に
教えていただきました。普段の何気ない
ご近所さんの声掛けや、いざという時の
助けは、夫が単身赴任の我が家にとって
は、**自治会に守られている**
ようで**大変心強い**です。

(40代女性)

宝くじの収益で まちを元気に



コミュニティセンター助成事業

土橋北自治会 (中萩校区)

コミュニティセンター助成事業の採択を受け、新自治会館の建設に取り組み、2月に完成しました。自治会員の絆を深める地域コミュニティの拠点として活用していきます。



地域の備品や集会施設を新しく

一般財団法人 自治総合センターは、宝くじの社会貢献広報事業として、コミュニティ活動に必要な備品や集会施設の整備、安全な地域づくりなどに対して助成を行っています。

今年度は市内1カ所の連合自治会と1カ所の単位自治会が、地域活動に使用する備品および自治会館を整備しました。

一般コミュニティ助成事業

船木校区連合自治会 (船木校区)

校区の活動で使用する折りたたみ式テーブル、折りたたみチェア、倉庫、プロジェクターなど、コミュニティ行事用具を整備しました。

